

千葉3地銀と千葉県、クリアホルダー10万枚回収・再利用

2025/10/15 19:30 | 日本経済新聞 電子版



千葉県や地銀3行がクリアホルダーの回収に取り組んだ

千葉県に本店を置く千葉銀行と京葉銀行、千葉興業銀行の3地銀と千葉県は15日、色落ちや傷みがひどいクリアホルダーを回収しリサイクル（再利用）する取り組みをしたと発表した。県の施設や銀行の営業店など約400拠点から10万7000枚のホルダーを集めた。

回収したホルダーは、リサイクル事業者のエム・エム・プラスチック（千葉県富津市）の工場ではトレーや荷物の搬送や保管に使う物流パレットなどに生まれ変わる。



傷みや色落ちがあるホルダーを10万7000枚集めた

千葉銀行は同行が主導する広域地銀連携TSUBASAアライアンスで、2023年にクリアホルダー回収など先行して取り組んでいた。千葉銀の担当者は「今後は地域のなかで活動を広げていければ」と話す。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.